

お問い合わせ窓口のご案内

ICレコーダーについてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには→ICレコーダー サポート・お問い合わせへ(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)
ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- 電話・FAXでのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ(右記電話・FAX番号)
 - ICレコーダーの商品カテゴリーは[ICレコーダー]です。
 - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
 - ◆セット本体に関するご質問時：
 - 型名：ICD-PX440
 - ご相談内容：できるだけ詳しく
 - シリアルナンバー：ICレコーダー本体裏面に記載
 - お買い上げ年月日
 - ◆ソフトウェアに関連するご質問時：
質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル0120-333-020	フリーダイヤル0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話050-3754-9577	携帯電話・PHS・一部のIP電話050-3754-9599
	※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389



上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「303」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつながします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



* 4 5 3 1 6 8 1 0 2 * (1)

© 2014 Sony Corporation Printed in China

SONY®

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

4-531-681-02(1)

準備する

録音する

再生する

消去する

編集する

メニューについて

パソコンを活用する

その他／困ったときは

ICD-PX440

**警告**

安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わない
- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口修理を依頼する

警告表示の意味

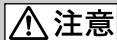
この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**危険**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



接触禁止



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



マニュアルについて



紙で見る

本書(取扱説明書)

ICレコーダーの詳細操作情報を記載しています。

かんたんスタートガイド(別冊)

ICレコーダーの基本操作(録音・再生・消去)や上手に録音、再生するための情報などを記載しています。

「Sound Organizerを使う」(別冊)

パソコンにインストールできるソフト「Sound Organizer」のインストール方法やできること、基本的な操作方法などを記載しています。



パソコン、スマートフォン、
タブレットで見る

ヘルプガイド

インターネットに接続されたパソコンから、ICレコーダーを楽しむ情報も含めた詳細な情報や、困ったときの対処方法を調べることができます。(→ 131 ページ)

外出先などでスマートフォンやタブレット端末から調べることもできます。

ICレコーダー サポート・お問い合わせページ(→ 131 ページ)

トラブルの解決方法や接続機器の互換性情報、最新情報を掲載しています。

Sound Organizerヘルプ

Sound Organizerの使いかたについて詳しく記載しています。

目次

次ページへつづく ➡

安全のために.....	2
警告表示の意味.....	2
⚠ 警告	3
マニュアルについて.....	4

準備する

箱の中身を確認する.....	9
各部のなまえ.....	10
電源を入れる.....	12
電池を入れる.....	12
電源を入れる.....	13
電源を切る.....	14
時計を合わせる.....	15
電池を入れてすぐに時計を合わせる.....	15

メニューを使って時計を合わせる.....	16
メモリーカードを入れる.....	19
フォルダ、ファイル、タブ、メモリーを選ぶ.....	22
フォルダ、ファイルとタブ表示.....	22
フォルダとファイルを選ぶ.....	22
タブを選ぶ.....	24
メモリーを切り換える.....	25
誤操作を防止する(ホールド).....	28

録音する

録音を始める.....	30
録音を止める.....	31
録音レベルガイドについて.....	32
録音中の音をモニターする.....	33
その他の操作.....	34

録音の設定を変える.....	35
用途に合わせた録音シーンを選ぶ.....	35
好みの録音設定をMyシーンに登録する.....	38
個別の録音設定項目を変更する.....	38
音がしたとき自動録音する	
— VOR (Voice Operated Recording) 録音	41
接続して録音する	43
他の機器の音声を録音する	43
他の機器へ録音する.....	46
ICレコーダーの音声を他の機器で録音する.....	46

再生する

再生を始める.....	48
再生を止める	48
その他の操作	49

再生の設定を変える.....	50
再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする	
— ノイズカット機能.....	50
再生速度を調節する	
— DPC (Digital Pitch Control)	52
フォルダ内のファイルを連続再生する	53
繰り返し再生する.....	54
より便利な再生方法.....	55
高音質で再生する.....	55
再生中に早送り／早戻しする	
— キュー／レビュー	56
聞きたいところをすばやく探す	
— イージーサーチ機能.....	57
カレンダーから録音した日付を選んで再生する	58
希望の時刻に再生を始める — アラーム再生	61

消去する

ファイルを消去する.....	64
フォルダの中身を一度に消去する	66

編集する

フォルダ内のファイルを整理する	68
ファイルを別のフォルダに移動する	68
ファイルを別のメモリーにコピーする	70
トラックマークを使う	72
トラックマークを付ける	72
トラックマークを消去する	73
すべてのトラックマークを消去する	74
ファイルを分割する	76
現在位置で分割する	76
すべてのトラックマーク位置で分割する	78

ファイルを保護する.....	80
----------------	----

メニューについて

メニューの使いかた.....	82
メニュー項目一覧	84
表示設定をする	86
本体設定をする	88

パソコンを活用する

パソコンにつないで使う	92
ICレコーダーをパソコンに接続する	93
フォルダとファイルの構成	94
ICレコーダーをパソコンから取りはずす	99
USBメモリーとして利用する	100

その他

USB ACアダプターにつないで使う	101
ICレコーダーを取りはずす	101
使用上のご注意	102
主な仕様	105
必要なシステム構成	105
Sound Organizerの使用に必要な パソコンのシステム構成	106
ICレコーダーの仕様	107
電池の持続時間	110
保証書とアフターサービス	111
保証書	111
アフターサービス	111

困ったときは

困ったときは	112
症状から調べる	113
こんなときは(ICレコーダー)	113
こんなときは(Sound Organizer)	122
メッセージ表示一覧	125
システム上の制約	130
サポートホームページで調べる	131
ヘルプガイドで調べる	131
安全のために	132
⚠ 注意	132
電池についての安全上のご注意	134
著作権と商標について	138
索引	140

箱の中身を確認する

本体(1)

ソニー単4形アルカリ乾電池(2)

取扱説明書 本書(1)

かんたんスタートガイド(1)

Sound Organizerを使う(1)

保証書

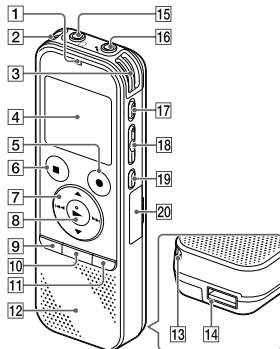
「製品登録」のおすすめ(1)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、ICレコーダーを使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

本製品はメモリースティック マイクロ™ (M2™)メディアに対応しています。M2™はメモリースティック マイクロ™の略称です。本文では今後略称M2™を用いて記述します。

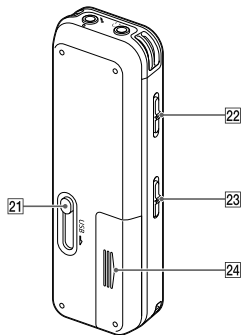
各部のなまえ

本体(表面)



- 1 録／再ランプ
- 2 内蔵マイク(L)
- 3 内蔵マイク(R)
- 4 表示窓
- 5 ● 録音／一時停止ボタン
- 6 ■ 停止ボタン
- 7 コントロールボタン (▲、▼、
◀◀ (早戻し)、▶▶ (早送り))
- 8 ▶ (再生／決定)ボタン*¹
- 9 メニューボタン
- 10 トラックマークボタン
- 11 フォルダボタン
- 12 スピーカー
- 13 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)
- 14 USB端子格納部
- 15 ♯ (ヘッドホン)ジャック
- 16 ● (マイク)ジャック(プラグイン
パワー)*¹
- 17 消去ボタン
- 18 音量－／＋ボタン*¹
- 19 ⇐ (リピート) A-Bボタン
- 20 M2™/microSDメモリーカード
スロット*²
(スロット蓋の中にあります。)

本体(裏面)



21 USB (スライド式USB端子用)つまみ

22 ホールド・電源 入／切スイッチ

23 DPC (速度調節)スイッチ

24 電池ふた

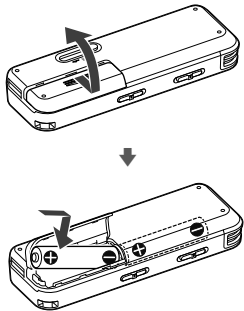
*¹ 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

*² 本書では、M2™とmicroSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。また、M2™ / microSDメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。

電源を入れる

電池を入れる

電池ぶたを矢印の方向へずらして開け、単4形アルカリ乾電池(付属)を入れ、ぶたを閉めます。



■ ご注意

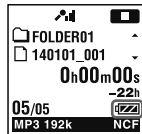
- ICレコーダーではニッケル水素電池を充電することはできません。充電には別売りのニッケル水素電池専用充電器をお使いください。
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。

💡 ヒント


- ICレコーダーでは、以下の乾電池、充電池をお使いになれます。
 - 単4形アルカリ乾電池2本(付属)
 - 充電式ニッケル水素電池単4形(別売)：NH-AAA-2BKB

電池を交換する時期


電池の残量が少なくなってくると、表示窓右下のアニメーション表示でお知らせします。




— 電池の残量表示

 : 電池の残量は充分です。

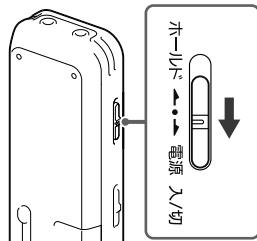


 : 「電池が残りわずかです」が表示されます。
電池の交換時期が近づいています。



 : 「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

電源を入れる



画面が表示されるまで、ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へスライドさせると、「アクセス中...」のアニメーションが表示され、電源が入ります。

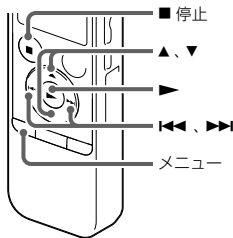
電源を切る

「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源入／切スイッチを「電源入／切」の方向へスライドさせると、電源が切れます。

💡 ヒント

停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時は、設定は10分になっています。)

時計を合わせる



アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、ICレコーダーの時計を合わせておく必要があります。

電池を入れてすぐに時計を合わせる

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を入れ直したり、新しい電池に取り換えたりしたときは、「時計を設定してください」のアニメーションが表示され、年表示が点滅します。

1 年月日と時分を合わせる。



▲または▼を押して、年の数字(西暦の下2桁の数字)を選び、▶ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。

◀◀ または ▶▶ を押すと、年、月、日、時、分を移動することができます。
「分」の数字を選び、▶ ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

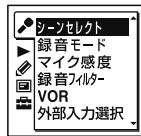
設定が完了すると停止画面に戻ります。


メニューを使って時計を合わせる

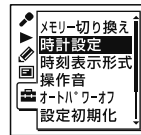
停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

1 メニュー画面で「時計設定」を選ぶ。

- ① メニューボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。



- ② ◀◀ を押した後、▲ または ▼ を押して  タブを選び、▶ ボタンを押す。
- ③ ▲ または ▼ を押して、「時計設定」を選び、▶ ボタンを押す。



- 2 ▲ または ▼ を押して「自動(対応ソフトと同期)」または「手動」を選び、▶ ボタンを押す。



「自動(対応ソフトと同期)」を選んだ場合：ICレコーダーをパソコンにつないでアプリケーションソフト Sound Organizer を起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
「手動」を選んだ場合は次の手順に進んでください。

- 3 ▲ または ▼ を押して、年月日の表示を選び、▶ ボタンを押す。



- 4 年月日と時分を合わせる。
▲ または ▼ を押して、年の数字(西暦の下2桁の数字)を選び、▶ ボタンを押します。同じ手順で、月、日、時、分の順に設定します。
◀◀ または ▶▶ を押すと、年、月、日、時、分を移動することができます。「分」の数字を選び、▶ ボタンを押すと、設定が時計に反映されます。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

■ ご注意

- それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常表示に戻ります。
- 電池を入れ直したり、新しい電池に取り換えたりしたときは、時計設定の画面が表示され、電池を取り換える前に最後にレコーダーを操作した日時が表示されます。現在の日時を設定し直してください。

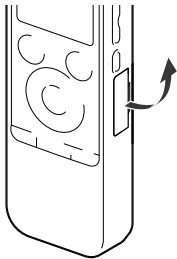
💡 ヒント

停止中にホールドにすると、現在時刻が表示されます。

メモリーカードを入れる

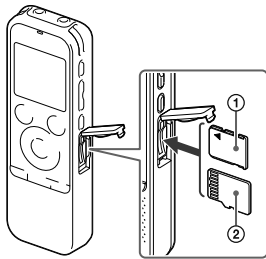
ICレコーダーでは、内蔵メモリーのほかに、別売のメモリーカードに音声を記録できます。

- 1 停止中にメモリーカードスロットのカバーを開ける。



- 2 M2™またはmicroSDカードを、メモリーカードスロットに、カチッと音がするまでしっかり差し込む。

- ①：M2™のカードラベル面を手前に
- ②：microSDの端子面を手前に



- 3** メモリーカードスロットのカバーを閉める。
「メモリーカードに切り換えますか？」と表示されます。

■ ご注意

- 電源が入っていないときにメモリーカードを挿入した場合は、メニューの「メモリー切り換え」を使って、使用するメモリーを選んでください。(25 ページ)。
- メモリーカードスロットのカバーに無理な力を加えると、カバーがはずれることがあります。
そのときは、カバーをICレコーダーの取り付け部に再度取り付けられます。

- 4** ▲ または ▼ を押して、「はい」または「いいえ」を選び、▶ ボタンを押す。

フォルダとファイルの構成について

内蔵メモリーのフォルダとは別に、メモリーカード内に5個のフォルダが作成されます。フォルダとファイルの構成は、内蔵メモリーとは異なります(96 ページ)。

■ ご注意

- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットの挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、ICレコーダーで初期化して空の状態にしてからお使いください(91 ページ)。

ICレコーダーで使えるメモリーカード

このICレコーダーでは、以下のメモリーカードをお使いになれます。

メモリーカード	対応
microSDカード(～ 2 GB)	○
microSDHCカード(4 GB ～ 32 GB)	○
microSDXCカード(64 GB以上)	×
M2™カード(～ 16 GB)	○

最新の動作確認済みメモリーカードについては、ICレコーダー サポート・お問い合わせページ
<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>
をご覧ください。

メモリーカードに記録できるファイルのサイズはICレコーダーの仕様上、1ファイルにつき500 MB未満です。

■ ご注意




対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。


メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

フォルダ、ファイル、タブ、メモリーを選ぶ

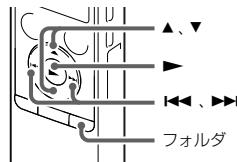
フォルダ、ファイルとタブ表示

このICレコーダーでは、フォルダを 、、 の3つのタブに分けて表示しています。

これら3つのタブはそれぞれ録音や再生の可能なエリアを表しており、タブ内のフォルダを選んだ状態で  を押すと、フォルダ内のファイルが表示されます。



フォルダとファイルを選ぶ



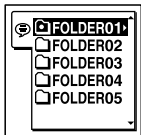
録音、再生、編集するファイル、フォルダを選ぶことができます。

- 1 停止中にフォルダボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。

2 フォルダを選ぶ。

▲または▼を押してフォルダを選び、▶ボタンを押します。

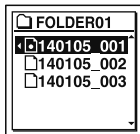
フォルダ内のファイル選択画面を表示するには、▲または▼を押してフォルダを選び、▶▶を押します。



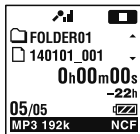
お買い上げ時には、FOLDER01～05の5個のフォルダが作成されています。

3 ファイルを選ぶ。

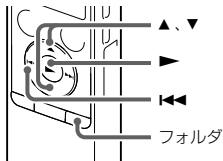
ファイル選択画面が表示されているときは、▲または▼を押して、ファイルを選び、▶ボタンを押します。



停止画面が表示されているときは、◀◀または▶▶を押してファイルを切り換えることができます。



タブを選ぶ



ICレコーダーで保存するフォルダは、録音可能エリア(🎙️)と再生専用エリア(🎵、🎧)に分けて管理され、タブで表示されます。

フォルダを選ぶときは、タブを切り換えることによりエリアを移動することができます。

🎙️ (Voice)	録音可能エリア。ICレコーダーで録音したファイルを管理します。
🎵 (Music)	再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理します。
🎧 (Podcast)	再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理します。

- 1 フォルダボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。
- 2 ◀◀ を押した後、▲ または ▼ を押して 🎙️ タブ、🎵 タブ、🎧 タブ、📁 タブのいずれかを選ぶ。



3 ▶ ボタンを押す。

選択したタブ内のフォルダ選択画面が表示されます。

4 フォルダ、ファイルを選ぶ(22 ページ)。

フォルダの種類により、フォルダアイコンが異なります。

📁：録音可能フォルダ

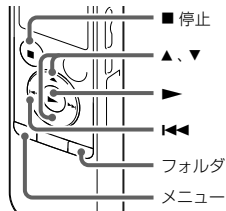
📁：再生専用フォルダ

📁：ポッドキャストフォルダ

お買い上げ時には、📁タブのみ表示されます。🎵タブ、📁タブは、パソコンからファイルを転送すると表示されます(「Sound Organizerを使う」(別冊))。





📁タブは、ICレコーダーにメモリーカードを入れると表示されます(19 ページ)。

メモリーを切り換える





使用するメモリーを、内蔵メモリーとメモリーカード間で切り換えることができます。

フォルダ選択画面から切り換える

- 1 停止中にフォルダボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。
- 2 ◀◀ を押した後、▲ または ▼ を押して、 または  タブを選ぶ。
 (内蔵メモリ) または  (メモリーカード) タブは、ICレコーダーにメモリーカードを入れる则表示されます(19 ページ)。
- 3 ▶ ボタンを押す。
メモリー選択画面が表示されます。
- 4 ▲ または ▼ を押して、「内蔵メモリ」または「メモリーカード」を選び、▶ ボタンを押す。





選択したメモリーのタブ( または )が表示されます。


- 5 停止画面に戻すには、■ 停止ボタンを押す。

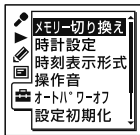
❗ ご注意


メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

	ICレコーダーにメモリーカードを入れ、メニューの「メモリー切り換え」を「内蔵メモリ」にすると表示されます。
	ICレコーダーにメモリーカードを入れ、メニューの「メモリー切り換え」を「メモリーカード」にすると表示されます。

メニューから切り換える

- 1 停止中にメニュー →  タブ → 「メモリー切り換え」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、「内蔵メモリー」または「メモリーカード」を選び、▶ ボタンを押す。
「メモリーカード」を選んだとき、メモリーカードが初期化済みの場合は手順5に進んでください。
- 3 メモリーカードを初期化していない場合は、メニュー →  タブ → 「メモリー初期化」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
「全てのデータを消去しますか？」と表示されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押して決定する。
- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

❗ ご注意

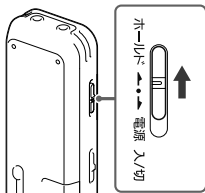
- ICレコーダーで使うメモリーカードはパソコンで初期化しないでください。必ずICレコーダーで初期化してください。
- あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから(25 ページ)、メモリー初期化を実行してください。
- 内蔵メモリーの初期化をすると、内蔵メモリーに保存されていたすべてのデータが消去されます。(保護したファイルやSound Organizerも消去されます。)一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

誤操作を防止する(ホールド)

ICレコーダーを持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

ボタン操作をできなくするには

電源が入っているときにボタン操作をできなくするには、ホールド・電源 入/切スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。



「ホールド」と現在時刻が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。



💡 ヒント

時刻表示は、メニュー設定で、時刻表示形式(12時間、24時間)を切り換えることができます(89 ページ)。

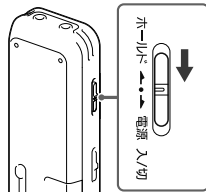
例：12:00 (24時間表示) / 12:00 PM (12時間表示)

ボタン操作をできるようにするには

ホールドになっているときにボタン操作をすると、「ホールド中 解除してください」と表示されます。



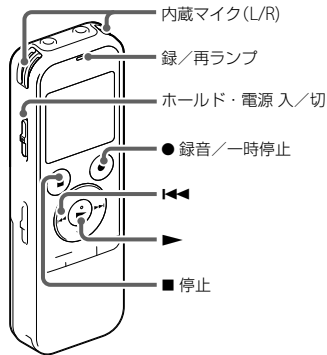
ホールドを解除するには、ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドします。



🔔 ホールド中でもアラーム再生は止められます

アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。(通常のアラーム再生は停止できません。)

録音を始める

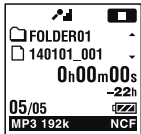


ここでは、基本的な録音操作の手順について説明します。
設定したマイク感度と録音モードで録音を行います。

💡 ヒント

録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター (33 ページ) をしながら録音することをおすすめします。

- 1 ホールド・電源入／切スイッチを「電源入／切」の位置にスライドして電源を入れる (13 ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する (28 ページ)。
停止画面が表示されます。



2 録音を保存したいフォルダを選ぶ(22 ページ)。

3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。



- 4** 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。
録／再ランプが赤く点灯し、録音が始まります。
録音中は、画面右上に **録音** が表示されます。
● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。
新しいファイルは自動的にフォルダの最終ファイルとして録音されます。

■ ご注意

録音中、ICレコーダーに手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

録音を止める

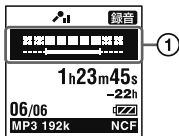
- 1** ■ 停止ボタンを押す。
「アクセス中...」のアニメーションが表示され、今録音したファイルのはじめで停止します。

アクセス中のご注意

画面上に「アクセス中...」のアニメーションが出ている間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池をはずしたり、USB ACアダプター（別売）を抜き差ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

録音レベルガイドについて

録音中は、録音レベルガイド(①)が表示されます。



上段に録音中の入力レベルが表示されます。下段の白いバーは、入力レベルの適正範囲を表示します。

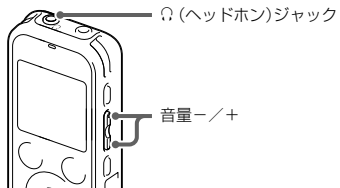


上の図のように、録音中の入力レベルが、下段の白い部分に収まるように、マイクの方角や音源からの距離を調節したり、マイク感度(40 ページ)、シーンセレクト(35 ページ)の設定を変更してください。

💡 ヒント


入力レベルの白く表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動したり、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

録音中の音をモニターする



市販のステレオヘッドホンを㊦ (ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量-/+ ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。



その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、  (録音一時停止)表示が点滅します。
------------	---

録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。(録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、 ■ 停止ボタンを押します。)
-------------	--

今録音したばかりのファイルを聞く	▶ ボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
------------------	--

早戻し(レビュー) 再生する

録音中または録音一時停止中に  を長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し(レビュー)再生されます。  を離すと、離れたところから再生が始まります。
--

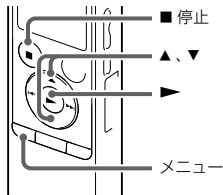
* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

💡 ヒント

Sound Organizerを使うと、新しいフォルダを作ったり、フォルダを消去したりできます(「Sound Organizerを使う」(別冊))。

録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ








さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード(39ページ)やマイク感度(40ページ)などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます(シーンセレクト機能)。

「Myシーン1」、「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

- 1 停止中にメニュー → ●タブ → 「シーンセレクト」を選び、►ボタンを押して決定する。
- 2 ▲または▼を押して、お好みのシーンを選び、►ボタンを押す。



3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

オフ*	シーンセレクト機能をオフにします。
 (会議)	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
 (講演)	講演会や講義を録音するときに適しています。
 (ボイスメモ)	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
 (インタビュー)	インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1 m ~ 2 m くらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
 (歌・音楽)	合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を2 m ~ 3 m くらいの距離で録音するときに適しています。









S1 (Myシーン1) 録音モード、マイク感度などをお好みに合わせて編集することができます。







S2 (Myシーン2) 録音モード、マイク感度などをお好みに合わせて編集することができます。

* お買い上げ時の設定

各シーンのお買い上げ時の録音設定について

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは39～42 ページをご覧ください。

	 (会議)	 (講演)	 (ボイスメモ)	 (インタビュー)
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 128kbps	MP3 128kbps
マイク感度	 中	 中	 低	 中
VOR	オフ	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	NCF (Noise Cut)	NCF (Noise Cut)	LCF (Low Cut)	NCF (Noise Cut)

	 (歌・音楽)	 51 (Myシーン1)	 52 (Myシーン2)
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps
マイク感度	 低(音楽)	 中	 中
VOR	オフ	オフ	オフ
録音フィルター	オフ	オフ	オフ

お好みの録音設定をMyシーンに登録する

「Myシーン1」または「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。

- 1 メニューの「シーンセレクト」を「オフ」にする。
停止中にメニュー → ●タブ → 「シーンセレクト」 → 「オフ」を選びます。
- 2 録音に関するメニューをお好みに設定する。
停止中にメニュー → ●タブを選びます。設定できるのは以下のメニューです。
録音モード／マイク感度／録音フィルター／VOR
- 3 停止中にメニュー → ●タブ → 「シーンセレクト」 → 「Myシーン1」または「Myシーン2」の下に表示される「登録」を選び、▶ボタンを押す。
「現在の録音設定を登録しますか？」と表示されます。
- 4 ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶ボタンを押す。
現在の録音設定が登録されます。

💡 ヒント

「Myシーン1」または「Myシーン2」の設定値は、🏠タブの「設定初期化」を実行するとお買い上げ時の設定に戻ります。

個別の録音設定項目を変更する

録音するファイルの録音モード(音質など)、マイク感度、録音フィルターを設定することができます。
録音を始める前に設定します。

❗ ご注意

「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに設定すると、シーンセレクトの設定は解除されます。

- 1 停止中にメニュー → ●タブを選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、変更したい項目を選び、▶ボタンを押す。
設定を変更します。

- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

録音モード






音質などを設定します。

MP3 192kbps*	ステレオ標準録音
MP3 128kbps	ステレオ長時間録音
MP3 48kbps(MONO)	モノラル標準録音
MP3 8kbps(MONO)	モノラル長時間録音

* お買い上げ時の設定

マイク感度

マイク感度を設定します。

 高	広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。
 中*	会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。
 低	口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。
 高(音楽)	広い会場などでの音楽を録音するときに使用します。
 低(音楽)	ピアノのレッスンなど、近くで演奏している音楽を録音するときに使用します。

* お買い上げ時の設定

録音フィルター

録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

NCF(Noise Cut)	音声以外の周波数の音をカットし、ノイズを軽減できます。
----------------	-----------------------------

NCF


LCF(Low Cut)	低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減できます。
--------------	---

LCF

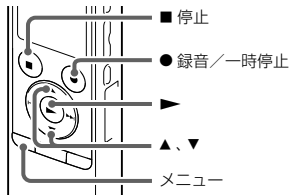
オフ*	録音フィルターを解除します。
-----	----------------

* お買い上げ時の設定

■ご注意

- 「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに設定すると、シーンセレクトの設定は解除されます。
- 「外部入力選択」が「Audio IN」に設定されているときは、マイク感度設定は無効になります。
- 「外部入力選択」が「Audio IN」に設定されていて、 (マイク) ジャックに他の機器を接続しているときは、録音フィルター機能は働きません。

音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording) 録音



ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

- 1 メニュー → ●タブ → 「VOR」を選び、▶ボタンを押して決定する。



- 2 ▲または▼を押して、「オン」を選び、▶ボタンを押す。
お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

VOR **録音**が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、**VOR** **●II** (録音一時停止) が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。

VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

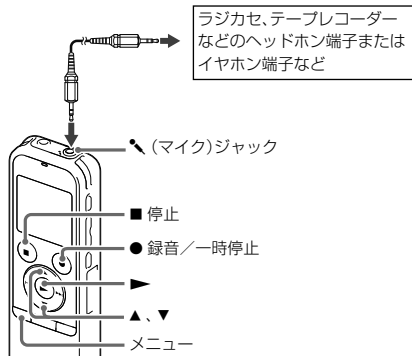
VOR録音を解除するには
手順2で「VOR」を「オフ」にします。

■ ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。
- 「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに「VOR」を設定すると、シーンセレクトの設定は解除されません。

接続して録音する

他の機器の音声を録音する



ラジカセ、テープレコーダーなど、他の機器の音声／音楽をICレコーダーに録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

💡 ヒント

入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってICレコーダーと接続し、ICレコーダーの録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

- 1 停止中に他の機器をICレコーダーの● (マイク)ジャックにつなぐ。

他の機器の音声出力端子を市販のオーディオコード(47 ページ)を使って、ICレコーダーの● (マイク)ジャックにつなぎます。

画面に「外部入力選択」が表示されます。

「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください。

MIC IN*	マイクジャックに外部マイクをつないだときに選びます。
Audio IN	マイクジャックにオーディオコードなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。

* お買い上げ時の設定

- 2 ▲ または ▼ を押して、「Audio IN」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクが自動的に切れ、つないだ機器からの音声の録音が始まります。■ 録音 が点灯します。



5 つないだ機器で再生を始める。

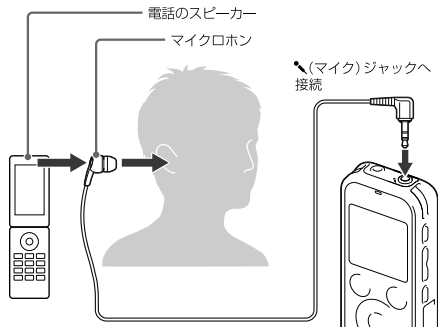
💡 ヒント

録音を止めるには、■ 停止ボタンを押してください。

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売のECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。

ICレコーダーのㇿ（マイク）ジャックにECM-TL3をつなぎ、電話のスピーカーをマイクロホンに当ててください。

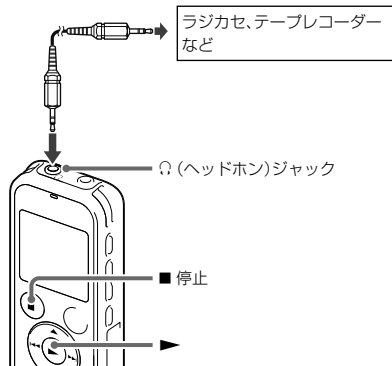


■ ご注意

- 録音する場合には、ICレコーダーと接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上で使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってからICレコーダーを録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能(41 ページ)が働かないことがあります。
- ICレコーダーを使って通話録音をしたとき、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

他の機器へ録音する

ICレコーダーの音声を他の機器で録音する



ICレコーダーにつないだ他の機器でICレコーダーの音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

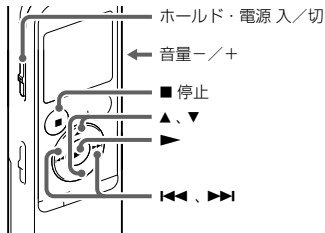
- 1 ICレコーダーの〇 (ヘッドホン)ジャックと他の機器の外部入力端子を市販のオーディオコード*を使ってつなぐ。
- 2 ICレコーダーの▶ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。
ICレコーダーのファイルが他の機器に録音されます。

- 3** 録音を止めるには、ICレコーダーの ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

***使用できる市販のオーディオコード**

外部機器と接続するときは、抵抗なしオーディオコードをお使いください。

再生を始める



- 1 ホールド・電源入/切スイッチを「電源入/切」の位置にスライドして電源を入れる(13 ページ)、または中央にスライドしてホールドを解除する(28 ページ)。
停止画面が表示されます。

- 2 再生したいファイルを選ぶ(22 ページ)。
ファイルを選ばない場合は、最後に録音または再生したファイルが再生されます。
- 3 ▶ ボタンを押す。
再生が始まり、録/再ランプが緑に点灯します。
- 4 音量-/＋ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

- 停止ボタンを押す。

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する ▶ ボタンを押す。
もう一度 ▶ ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。

今聞いているファイルの頭に戻る ⏮ を短く1回押す。 *1*2

前のファイル、さらに前のファイルに戻る ⏮ を短く何回か押す。(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。 *3)

次のファイルに進む ▶▶ を短く1回押す。 *1*2

さらに次のファイルに進む ▶▶ を短く何回か押す。(停止中は押したままにすると、連続して進みます。 *3)

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます(72 ページ)。

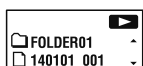
*2 メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です(57 ページ)。

*3 トラックマークには止まりません。

曲情報を切り換える

停止／再生中に ▲ または ▼ を押してファイルの曲情報を切り換えて確認することができます。

ICレコーダーで録音されたファイルは、下記のように表示されます。



📁 : フォルダ名を表示 : FOLDER01 ~ FOLDER05 (パソコンからコピーしたフォルダの場合は「📁」、ポッドキャストファイルが入るフォルダの場合は「🎧」が表示されます。)

📄 : ファイル名を表示 : 年月日_番号
(例 : 140101_001)



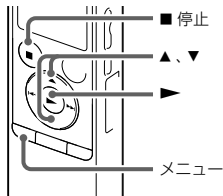
👤 : アーティスト名を表示 : My Recording
🎵 : タイトル名を表示 : 年月日_番号 (例 : 140101_001)

❗ ご注意

再生中にDPC (速度調節)スイッチを「入」にしているときは、曲情報の切り換えはできません。

再生の設定を変える

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする — ノイズカット機能



再生時にノイズカット機能を有効に設定すると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべ

ての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。

- 1 停止／再生時に、メニュー → ▶ タブ → 「ノイズカット」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、「オート」、「強」または「弱」を選び、▶ ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ノイズカットを設定すると、再生中は画面右下に

N-CUT が表示されます。

💡 ヒント

- ノイズカット機能は、ICレコーダーでファイルを再生するときにノイズを低減して再生する機能です。
- ノイズカットを「オート」に設定したときは、画面に**N-CUT** が表示されません。

ノイズカットを解除するには

手順2で「オフ」を選択します。

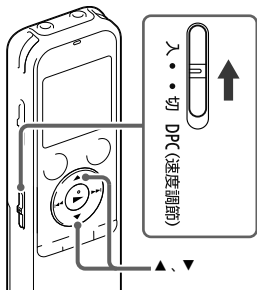
メニュー項目	詳細
オート	ICレコーダーで録音したファイルに応じて自動的にノイズカットレベルを設定します。
強	ノイズカットレベルを強くします。
弱	ノイズカットレベルを弱くします。「強」にして音声聞き取りにくいときに選びます。
オフ*	ノイズカット機能を解除します。

* お買い上げ時の設定

❗ ご注意

- 音楽を再生するときは、ノイズカット機能を「オフ」にしてください。
- 内蔵スピーカーで再生しているときは、ノイズカット機能は無効になります。

再生速度を調節する — DPC (Digital Pitch Control)



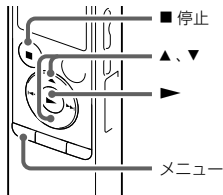
再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。
その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベル
で再生します。

- 1 DPC (速度調節)スイッチを「入」にする。
- 2 再生中に ▲ または ▼ を押して、再生速度を調節する。
0.05倍速刻みで遅くする(×0.50 ～×1.00)
0.10倍速刻みで速くする(×1.00 ～×2.00)
ボタンを長押しすると連続して設定できます。
お買い上げ時は、「×0.70」に設定されています。

通常の再生速度に戻すには

DPC (速度調節)スイッチを「切」にします。

フォルダ内のファイルを連続再生する



フォルダ内のファイルを連続して再生します。

- 1 停止／再生時にメニュー → ▶ タブ → 「連続再生」を選び、▶ ボタンを押して決定する。

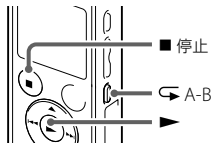


- 2 ▲ または ▼ を押して、「オン」または「オフ」を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

オン*	フォルダ内のファイルを連続再生する。
オフ	1ファイルを再生する。

* お買い上げ時の設定

繰り返し再生する



2種類のリピート再生ができます。

ひとつのファイルをリピート再生する

- 1 再生中に ▶ ボタンを長押しする。
「↺ 1」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。

💡 ヒント

通常再生に戻るには、▶ ボタンを押します。

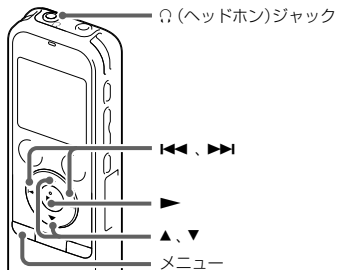
必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

- 1 再生中に ↺ A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。
- 2 もう一度 ↺ A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「↺ A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

💡 ヒント

- A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには、↺ A-B ボタンをもう一度押します。
- A-Bリピート再生を停止するには、■ 停止ボタンを押します。A-Bリピートの設定を保持したまま再生が止まります。もう一度 ■ 停止ボタンを押すと、A-Bリピート設定が解除されます。
- A-Bリピートの範囲を変えるには、A-Bリピート再生中にもう一度 ↺ A-Bボタンを押して通常の再生に戻ります。もう一度手順1と2を行ってください。

より便利な再生方法



高音質で再生する

- ヘッドホンで聞く：
市販のステレオヘッドホンをつないでください。内蔵スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
市販のアクティブスピーカーをつないでください。内蔵スピーカーからは音が出なくなります。

再生中に早送り／早戻しする — キュー／レビュー

- 早送り(キュー)：
再生中に ►► を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し(レビュー)：
再生中に ◀◀ を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

🔔 最後のファイルの終わりまで再生または早送り (キュー)すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。

- 「FILE END」と録／再ランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中に ◀◀ を押したままにすると、早戻しされ、離れたところから再生が始まります。

聞きたいところをすばやく探す — イージーサーチ機能

イージーサーチ機能を使うと再生を開始したい場所をすばやく見つけることができます。

- 1 停止／再生時にメニュー → ► タブ → 「イージーサーチ」を選び、► ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► ボタンを押す。

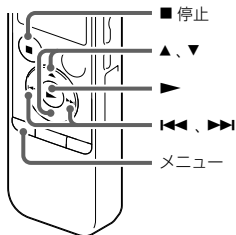
- 3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

オン	再生中、►► ボタンを1回押すごとに約10秒進み、◄◄ ボタンを1回押すごとに約3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。
----	--

オフ*	イージーサーチ機能を無効にします。►► または ◄◄ を押すと、ファイルを早送り／早戻しします。
-----	--

* お買い上げ時の設定

カレンダーから録音した日付を選んで再生する



ICレコーダーで録音したファイルを、カレンダーから検索して再生できます。

- 1 停止中にメニュー → タブ → 「カレンダー表示」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「アクセス中...」のアニメーションの後に、カレンダーが表示され、現在の日付が選択されます。

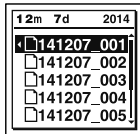
- 2 ◀◀ または ▶▶ を押して、日付を選び、▶ ボタンを押す。

ファイルが存在する日付には下線が表示されます。

12						2014
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	<u>3</u>	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

▲ または ▼ を押すと、前後の週へ移動します。それぞれのボタンを長押しすると、連続して移動します。

- 3 ▲ または ▼ を押して、ファイルを選び、▶ ボタンを押す。



確認画面が表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

- 4 ▲ または ▼ を押して、「決定」を選び、▶ ボタンを押す。

ファイルが再生されます。

- 5 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

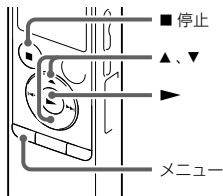
途中でカレンダーから録音した日付を選んで再生するのをやめるには

手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

■ ご注意

- カレンダーから検索してファイルを再生するには、あらかじめレコーダーの時計を合わせる必要があります (15 ページ)。
- ファイルの存在しない日付を選択して決定した場合は、「ファイルがありません」が表示されます。ファイルが存在する日付を選択してください。
- カレンダーから検索して再生できるのは、ICレコーダーで録音したファイルが入っている録音可能フォルダのみです。フォルダ構成について詳しくは「フォルダとファイルの構成」(94 ページ)をご覧ください。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生



あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。
 特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
 1ファイルに1件のアラームが設定できます。

1 アラーム再生したいファイルを表示させる。

2 アラーム設定をする。

① 停止時にメニュー → ▶ タブ → 「アラーム」を選び、→ ▶ ボタンを押して決定する。



② ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、▶ ボタンを押す。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

① ▲ または ▼ を押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、
▶ ボタンを押す。

② 次のいずれかの操作を行う。

「日時」を選んだ場合：

「時計を合わせる」(15 ページ)に従って年月日、時刻を設定します。

曜日や「毎日」を選んだ場合：


▲ または ▼ を押して「時」を選び、▶ ボタンを押し、同じように ▲ または ▼ を押して「分」を選び、▶ ボタンを押します。

4 ▲ または ▼ を押してお好みのアラームパターンを選び、▶ ボタンを押す。



「実行中...」の表示が出ます。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

メニューを終了すると「」が表示されて、選んだファイルにアラームが設定されます。

設定内容を変更するには

アラーム再生したいファイルを表示し、2～5の手順を繰り返します。

設定内容を解除するには

手順2「アラーム設定をする」の手順②で「オフ」を選び、**▶**ボタンを押して決定します。アラームが解除されます。表示窓のアラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

自動的に電源が入り、「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。

再生が終わると、自動的に停止します(アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生したファイルの頭に戻ります)。

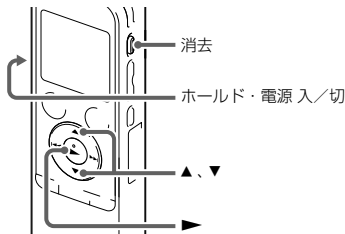
アラーム再生を止めるには

アラーム再生中に音量－／＋以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められます。

■ ご注意

- 録音中は、アラーム再生されません。録音を停止したあとに再生が始まります。
- ポッドキャストのファイル、メモリーカードに保存しているファイルには、アラーム設定できません。

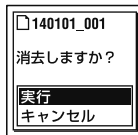
ファイルを消去する



■ ご注意

- 一度消去したファイルはもとに戻すことはできません。ご注意ください。
- 保護設定されているファイルは、消去できません。保護設定を解除してから操作してください(80 ページ)。

- 1 停止中または再生中に消去したいファイルを選ぶ(22 ページ)。
- 2 消去ボタンを押す。
「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。
- 3 ▲または▼を押して、「実行」を選ぶ。



4 ▶ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。

ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

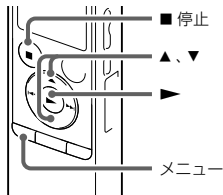
途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ボタンを押します。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには


ファイル分割(76 ページ)で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを消去する」の手順2から手順4の操作をします。

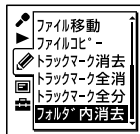
フォルダの中身を一度に消去する



■ ご注意

保護設定されているファイルは、消去できません。保護設定を解除してから操作してください(80 ページ)。

- 1 停止中に消去したいファイルの入っているフォルダを選ぶ(22 ページ)。
- 2 メニュー →  タブ → 「フォルダ内消去」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「フォルダ内のファイルを全て消去しますか?」と表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

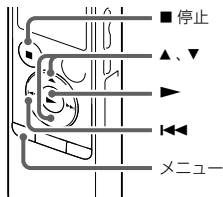
4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。

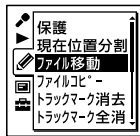
フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する



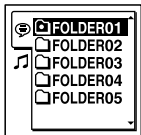
選んだファイルをお好みのフォルダに移動することができます。

- 1 移動させたいファイルを選ぶ(22 ページ)。
- 2 停止中にメニュー → 鉛筆タブ → 「ファイル移動」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 3 ◀◀ を押した後、▲ または ▼ を押して 目録タブ または 音楽タブを選び、▶ ボタンを押す。

- 4 ▲ または ▼ を押して、移動先のフォルダを選び、
▶ ボタンを押す。



「移動中...」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

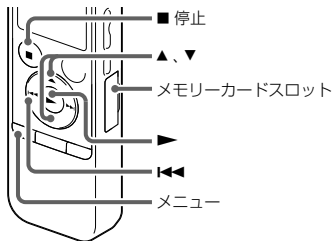
- 5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でファイルの移動をやめるには
手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。


■ ご注意

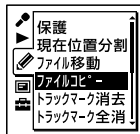
- 保護設定されているファイルは、移動できません。保護設定を解除してから操作してください(80 ページ)。
- ポッドキャストのファイルは、移動できません。

ファイルを別のメモリーにコピーする



内蔵メモリーとメモリーカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。操作を始める前に、ファイルコピーに使用するメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてください。

- 1 コピーしたいファイルを表示する(22 ページ)。メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、メモリーをメモリーカードに切り換えます。(25 ページ)
- 2 メニュー →  タブ → 「ファイルコピー」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「メモリーカードのコピー先を選択してください」または「内蔵メモリーのコピー先を選択してください」というアニメーションが表示され、フォルダ選択画面が表示されます。

- 3 **⏮** を押した後、**▲** または **▼** を押して **🎵** タブ
または **🎶** タブを選び、**▶** ボタンを押す。
- 4 **▲** または **▼** を押して、コピー先のフォルダを選
び、**▶** ボタンを押す。
「コピー中...」のアニメーションが表示され、コピー
先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じ
ファイル名でコピーされます。
- 5 **■** 停止ボタンを押して、メニューモードを終了
する。

途中でコピーをやめるには

手順4の前に **■** 停止ボタンを押します。

コピー中に中止するには

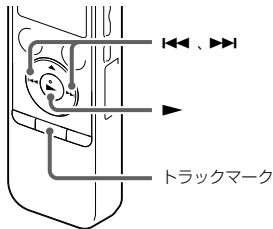
手順4で「コピー中...」のアニメーションが表示されてい
るときに、**■** 停止ボタンを押します。

❗ ご注意

ポッドキャストのファイルは、コピーできません。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける



再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

録音中、再生中、録音一時停止中、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

📍(トラックマーク)表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。



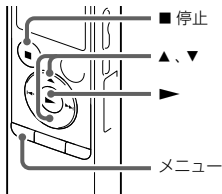
トラックマークを付けた位置を探して聞くには停止中に ⏮️ または ⏭️ を押します。

▼(トラックマーク)表示が1回点滅したら、▶ボタンを押します。

■ ご注意

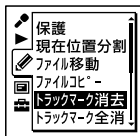
- 保護設定されているファイルには、トラックマークが付けられません。保護設定を解除してから操作してください(80 ページ)。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルには、トラックマークが付けられません。

トラックマークを消去する



現在位置のトラックマークを消去します。

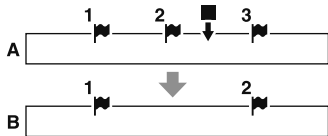
- 1 消去したいトラックマーク位置の後で停止する。
- 2 メニュー → 鉛筆タブ → 「トラックマーク消去」を選び、▶ボタンを押して決定する。



「トラックマークを消去しますか?」と表示されます。

- 3 ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークは消去されます。



A：トラックマーク消去前：■ = 停止位置

B：トラックマーク消去後：停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

- 4** ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

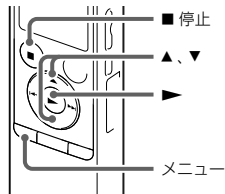
途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。


■ ご注意

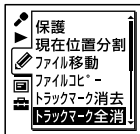
保護設定されているファイルには、トラックマーク消去ができません。保護設定を解除してから操作してください（80 ページ）。

すべてのトラックマークを消去する



選んだファイル内のすべてのトラックマークを削除します。

- 1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。
- 2 メニュー →  タブ → 「トラックマーク全消去」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「トラックマークを全て消去しますか?」と表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

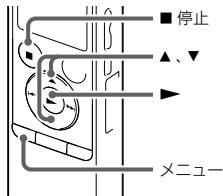
手順3で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。

■ ご注意

保護設定されているファイルには、トラックマーク消去ができません。保護設定を解除してから操作してください(80 ページ)。



ファイルを分割する

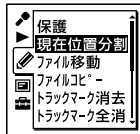
現在位置で分割する



停止中にファイルを分割して、そのファイル名に新しい番号が付けられます。会議など1つのファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したい

ファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

- 1 分割したい位置で停止する。
- 2 メニュー →  タブ → 「現在位置分割」を選び、 ボタンを押して決定する。



「分割しますか?」と表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

A	ファイル1	ファイル2	ファイル3	
B	ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

A：分割前：▲ = 分割位置

B：分割後：分割したファイル名の末尾に連番(「_1」、「_2」)が付く。

- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

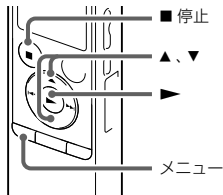
途中で分割をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。

■ ご注意

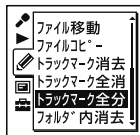
- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください(80 ページ)。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルは、分割できません。

すべてのトラックマーク位置で分割する



トラックマークのある位置でファイルを分割することができます。

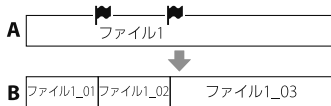
- 1 分割したいファイルを選ぶ。
- 2 停止時にメニュー → 鉛筆タブ → 「トラックマーク全分割」を選び、▶ ボタンを押して決定する。



「全てのトラックマークで分割しますか？」と表示されます。

- 3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番(_01 ~ _99)が振られます。



- A：分割前：🚩 = トラックマーク位置
 B：分割後：トラックマーク位置でファイルが分割され、分割したファイル名の末尾に連番(「_01」、「_02」、「_03」)が付く

- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

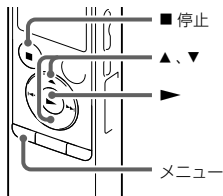
途中で分割をやめるには


- 手順3で「キャンセル」を選び、▶ ボタンを押します。
- 分割中に中止するには、手順3で「分割中...」のアニメーションが表示されているときに、■ 停止ボタンを押します。





❗ ご注意

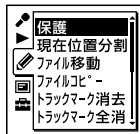
- 保護設定されているファイルは、分割できません。保護設定を解除してから操作してください(80 ページ)。
- 音楽ファイルやポッドキャストファイルは、分割できません。
- 分割したファイルはICレコーダーでは結合できません。パソコンを使えば、Sound Organizer上でファイルを結合できます。詳しくは、Sound Organizerのヘルプをご覧ください。

ファイルを保護する



大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、 (保護) マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

- 1  タブ、 タブの中から、保護したいファイルを選ぶ。
- 2 停止時にメニュー →  タブ → 「保護」を選び、
 ボタンを押して決定する。



「保護に設定しますか?」と表示されます。

3 ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、▶ ボタンを押す。

ファイルが保護されます。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

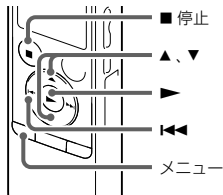
保護を解除するには

保護されたファイルを選び、手順2から手順4を実行します。手順2では「保護を解除しますか？」と表示されます。

■ ご注意

ポッドキャストファイルは、操作できません。

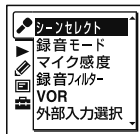
メニューの使いかた






■ ご注意

録音、再生中はメニューに表示されない項目があります。
ここでは停止中のメニューの使いかたについて説明しています。

- 1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。



- 2 ◀◀ を押した後、▲または▼を押して 🔊、▶、、、 タブのいずれかを選び、▶ボタンを押す。

3 ▲ または ▼ を押して、設定したい項目を選び、
▶ ボタンを押す。

4 ▲ または ▼ を押して設定し、**▶** ボタンを押す。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

■ ご注意

操作しない状態が1分以上続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。



1つ前の画面に戻るには



メニュー操作中に **◀◀** を押します。


メニューモードを中止するには

■ 停止ボタンまたはメニューボタンを押します。

メニュー項目一覧

タブ	メニュー	参照ページ
 (録音)	シーンセレクト	35
	録音モード	39
	マイク感度	40
	録音フィルター	40
	VOR	41
	外部入力選択	43
 (再生)	ノイズカット	50
	イージーサーチ	57
	連続再生	53
	アラーム	61

タブ	メニュー	参照ページ
 (編集)	保護	80
	現在位置分割	76
	ファイル移動	68
	ファイルコピー	70
	トラックマーク消去	73
	トラックマーク全消去	74
	トラックマーク全分割	78
 (表示)	フォルダ内消去	66
	カレンダー表示	58、87
	表示切り換え	87
	ランプ	87


タブ	メニュー	参照ページ
 (本体設定)	メモリー切り換え	27、88
	時計設定	16、89
	時刻表示形式	89
	操作音	89
	オートパワーオフ	90
	設定初期化	90
	メモリー初期化	91
	本体情報	91

ご注意

録音、再生中はメニューに表示されない項目があります。
ここでは停止中のメニューについて説明しています。

表示設定をする

表示やランプの設定を選ぶことができます。

- 1 メニュー →  タブを選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、変更したい項目を選び、▶ ボタンを押す。
- 3 ▲ または ▼ を押して設定し、▶ ボタンを押す。
- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

カレンダー表示

画面表示をカレンダーに切り換え、ICレコーダーで録音したファイルを、カレンダーから検索して再生できます。ファイルを選んだ後で、以下の項目を選択します。

決定	選択したファイルを再生します。
戻る	選択したファイルを再生せず、前の画面に戻ります。

💡 ヒント

「カレンダーから録音した日付を選んで再生する」
(58 ページ)で詳しい手順を説明しています。

表示切り換え

表示モードを設定します。

経過時間*	1ファイルの経過時間
残り時間	停止／再生中は、1ファイルの残り時間、録音中は、録音可能時間
録音日付	録音した日付
録音時刻	録音した時刻

* お買い上げ時の設定

ランプ

録／再ランプの点灯、消灯を設定します。

オン*	動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。
オフ	動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。


* お買い上げ時の設定

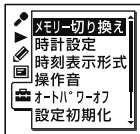
❗️ ご注意

パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても録／再ランプは点灯・点滅します。

本体設定をする

操作音、オートパワーオフなどの設定を選ぶことができます。

- 1 停止中にメニュー →  タブを選び、▶ ボタンを押して決定する。



- 2 ▲ または ▼ を押して、変更したい項目を選び、▶ ボタンを押す。

- 3 ▲ または ▼ を押して設定し、▶ ボタンを押す。

- 4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

メモリー切り換え

録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。

内蔵メモリー* 内蔵メモリーを使用します。

メモリーカード ICレコーダーのメモリーカードスロットに挿入されているメモリーカードを使用します。

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。

時計設定

時計設定の方法を選択します。

自動(対応ソフトと同期)*	ICレコーダーをパソコンにつないで、Sound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
---------------	--

手動	「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。
----	-----------------------------------

* お買い上げ時の設定

時刻表示形式

時刻表示形式を設定します。

12時間*	12:00AM=真夜中、12:00PM=正午
-------	------------------------

24時間	0:00=真夜中、12:00=正午
------	-------------------

* お買い上げ時の設定

操作音

操作確認音を設定します。

オン*	操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。
-----	------------------------------

オフ	操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。
----	-------------------------

* お買い上げ時の設定

■ ご注意

「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。

オートパワーオフ

指定した時間が経過すると、自動的にICレコーダーの電源が切れるように設定できます。

5分	約5分後に電源が切れます。
10分*	約10分後に電源が切れます。
30分	約30分後に電源が切れます。
60分	約60分後に電源が切れます。
オフ	電源は自動的に切れません。

* お買い上げ時の設定

💡 ヒント

オートパワーオフ機能は、ICレコーダーが停止状態で、操作をしないまま設定した時間が経過したときに働きます。

設定初期化

メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

実行	「アクセス中...」のアニメーションが表示され、設定を初期化します。
キャンセル	初期化せず、前の画面に戻ります。

❗ ご注意

アラーム、保護、メモリー切り換え、時計設定については初期化されません。

メモリー初期化

現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。

実行	「初期化中...」のアニメーションが表示され、選択中のメモリーを初期化します。
キャンセル	初期化せず、前の画面に戻ります。

■ ご注意

- ・ICレコーダーで使うメモリーカードはパソコンで初期化しないでください。必ずICレコーダーで初期化してください。
- ・あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから（25 ページ）、メモリー初期化を実行してください。
- ・内蔵メモリーの初期化をすると、内蔵メモリーに保存されていたすべてのデータが消去されます。（保護したファイルやSound Organizerも消去されます。）一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

本体情報

ICレコーダーの型名、ソフトウェアのバージョン番号、ユーザー名を表示します。ユーザー名はSound Organizerを使って登録することができます。ファイル名の一部にユーザー名を表示するように設定することもできます。

パソコンにつないで使う

ICレコーダーとパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルをICレコーダーからパソコンにコピーして保存する(「Sound Organizerを使う」(別冊))

音楽ファイルをパソコンからICレコーダーにコピーして再生する(「Sound Organizerを使う」(別冊))

USBメモリーとして利用する(100 ページ)

パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。

Sound Organizerでファイルを管理・編集する(「Sound Organizerを使う」(別冊))

ソフトウェアSound Organizerを使って、ICレコーダーで録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルやポッドキャストをICレコーダーに転送したりできます。

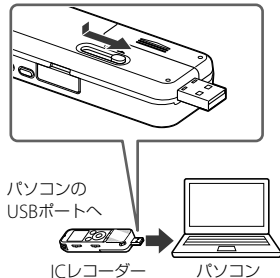
パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、「必要なシステム構成」(105 ページ)、または「Sound Organizerの使用に必要なパソコンのシステム構成」(106 ページ)をご覧ください。

ICレコーダーをパソコンに接続する

ICレコーダーとパソコンでファイルをやり取りするためには、ICレコーダーをパソコンに接続します。

- 1 ICレコーダーのUSBつまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。



ICレコーダーがパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、専用USB接続補助ケーブルPC-U004を補修部品(有償)としてご用意しています。詳しくは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へお問い合わせください。また、USBロゴのついたセルフパワーのUSBハブでもご使用になれます。

2 正しく認識されているかを確認する。

Windowsでは、[コンピューター] (または[マイコンピュータ])を開き、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。

Macでは、Finderに「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側でICレコーダーを認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。

接続している間はICレコーダーの表示窓に「接続中」の表示が出ています。

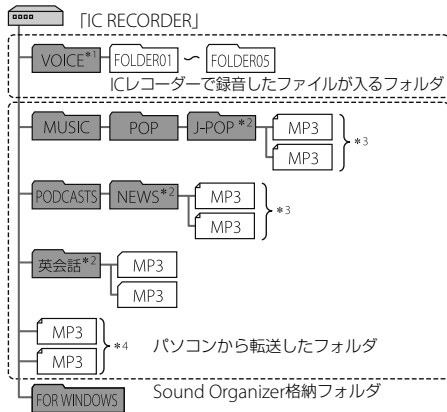
フォルダとファイルの構成

ICレコーダーをパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。WindowsではExplorerを使って、MacではFinderを使って、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。パソコンの画面で見ると、次の図のように表示されます。

💡 ヒント

- ICレコーダーでは、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、ICレコーダーでは「No Data」と表示されます。

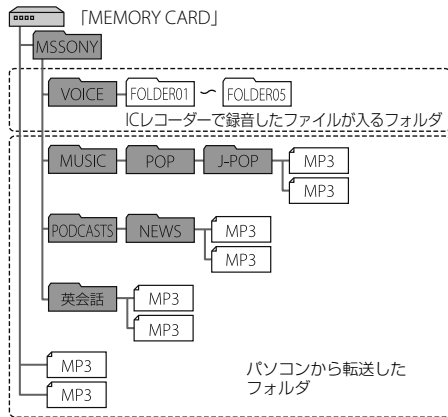
内蔵メモリーの場合



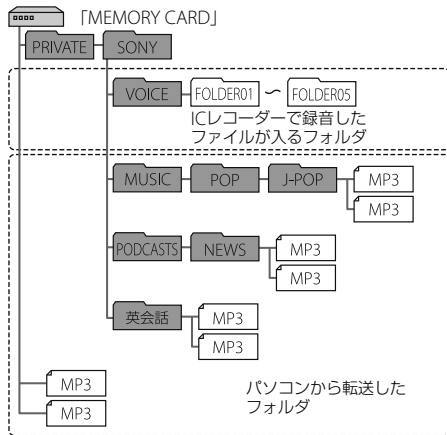
- *1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、ICレコーダーの タブには表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。
- *2 音楽ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名はICレコーダーでも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。(図は、フォルダ名称の例です。)
- *3 音楽ファイルを認識できるのは、ICレコーダーに転送したフォルダの8階層目までとなります。
- *4 音楽ファイルを単独で転送すると「未分類」のフォルダとして扱われます。

ICレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてから(25 ページ)パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

メモリースティック マイクロ™(M2™)の場合



microSDカードの場合





ICレコーダーで見たフォルダの構成

ICレコーダーの表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合のフォルダ構成とは異なります。

フォルダの違いは、ICレコーダーの表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

: ICレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ

: パソコンから転送したフォルダ(パソコンから転送したときに表示されます。)

: パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダ(パソコンから転送したときに表示されます。)

■ ご注意


ICレコーダーで再生できるファイルが入っていないフォルダは、ICレコーダーでは表示されません。

ICレコーダーの タブに表示されるフォルダ



ICレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ(VOICEフォルダ配下のフォルダ)が表示されます。

■ ご注意

VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、ICレコーダーの  タブには表示されません。

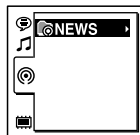
ICレコーダーの 🎵 タブに表示されるフォルダ



パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。

- MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ(階層が深い場合は、すべて並列に表示されます。)
- MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
- 「未分類」フォルダ(単独で転送したファイルは、このフォルダ配下に表示されます。)

ICレコーダーの 🎧 タブに表示されるフォルダ



パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダが表示されます。

ポッドキャストファイルをパソコンからICレコーダーに転送する際は、Sound Organizerをご使用ください。

ICレコーダーをパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

1 録／再ランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：

タスクバー（パソコンの画面右下）にあるアイコンを左クリックしてください。



[IC RECORDERの取り外し] (Windows 7、Windows 8、Windows 8.1)または、[USB大容量記憶装置 – ドライブを安全に取り外します] (Windows Vista)を左クリックしてください。アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

お使いのパソコンの設定によっては、タスクバーにアイコンが表示されない場合があります。

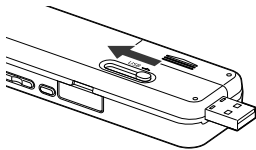
Macの場合：

Finderのサイドバーに表示されている

「IC RECORDER」の取りはずしアイコンをクリックしてください。

パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

- 3 ICレコーダーをパソコンのUSBポートからはずし、ICレコーダーのUSBつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。



USBメモリーとして利用する

ICレコーダーとパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にあるICレコーダーで録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルをICレコーダーに一時保存できます。

USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。

OSの条件については「必要なシステム構成」(105 ページ)をご覧ください。

USB ACアダプターにつないで使う



USB ACアダプター（別売）を使って、ICレコーダーと家庭用電源（コンセント）をつないで、ICレコーダーを使用することができます。長時間録音をする場合などに便利です。

- 1 別売のUSB ACアダプターをコンセントにつなぐ。
- 2 ICレコーダーのUSBつまみをスライドし、USB ACアダプターにつなぐ。

ICレコーダーを取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、ICレコーダーにデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

- 1 録音や再生などの動作中の場合、■ 停止ボタンを押して動作を停止する。
- 2 録／再ランプが消えていることを確認する。
- 3 ICレコーダーをUSB ACアダプターから取りはずし、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。ICレコーダーは防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。

- 洗面所などでICレコーダーをポケットに入れての使用。
身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。

- 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
- 汗をかく状況での使用。

濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットにICレコーダーを入れると、水濡れの原因になることがあります。

- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中にICレコーダーに手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

メモリーカードのご使用について

- 初期化は必ずICレコーダーで行ってください。パソコンなどICレコーダー以外の機器を用いて初期化したメモリーカードは、ICレコーダーでの動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。
- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／初期化中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。

- 表示窓に「アクセス中...」、「初期化中...」のアニメーションが表示されている間や、録／再ランプがオレンジに点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- M2™の対応表については、
<http://www.sony.co.jp/mstaiou/> をご覧ください。
- microSD/SDHCカードの対応表については、
<http://www.sony.co.jp/sdtaiou/> をご覧ください。
- MagicGate™(マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。ICレコーダーは、MagicGate™によるデータ録音、再生には対応していません。
- お使いのICレコーダーはパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書き込み禁止のメモリーカードは、ご使用できません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - ー 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
 - ー 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用はしないでください。
 - ー 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
 - ー 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

必要なシステム構成

パソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 (Service Pack1以降) / Windows Vista (Service Pack2以降)
 - Mac OS X (v10.5 ~ v10.9)
- 標準インストール(日本語版のみ)

■ ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、131 ページに記載のICレコーダー「サポート・お問い合わせ」ページをご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューター またはMac

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート
- ディスクドライブ：音楽CDを作成する場合はCD-R/RWドライブが必要です。

■ ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

Sound Organizerの使用に必要なパソコンのシステム構成

Sound Organizerをお使いの場合に必要なパソコンのシステム構成は、以下の通りです。

OS

- Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 (Service Pack1以降) / Windows Vista (Service Pack2以降)
標準インストール(日本語版のみ)

■ ご注意

- 上記のOSがパソコン工場出荷時にインストールされている必要があります。アップグレードした場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、131 ページに記載のICレコーダー「サポート・お問い合わせ」ページをご覧ください。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU
Windows Vista : Pentium III プロセッサー 800 MHz以上
Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 :
Pentium III プロセッサー 1 GHz以上
- メモリー
Windows Vista : 512 MB以上 (Windows Vista Ultimate / Business / Home Premiumの場合は1 GB以上推奨)
Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 : 1 GB以上 (32ビット版) / 2 GB以上 (64ビット版)
- ハードディスクの空き容量
400 MB以上
Windowsのバージョンによってはそれ以上使用場合があります。また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
画面の解像度 : 800×600ピクセル以上 (1,024×768ピクセル推奨)
画面の色 : High Color (16ビット) 以上
- サウンドボード
SoundBlaster互換推奨

ICレコーダーの仕様

容量(ユーザー使用可能領域)

4 GB (約3.60 GB = 3,865,470,566 Byte)

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

最大フォルダ数(1ドライブ内)

400フォルダ

最大ファイル数(1フォルダ内)

199ファイル

最大ファイル数(1ドライブ内)

4,074ファイル(フォルダ数が21の場合)

周波数範囲

- MP3 192kbps: 75 Hz ~ 20,000 Hz
- MP3 128kbps: 75 Hz ~ 17,000 Hz
- MP3 48kbps (MONO): 75 Hz ~ 14,000 Hz
- MP3 8kbps (MONO): 75 Hz ~ 3,500 Hz

対応ファイルフォーマット

MP3^{*1}

- ビットレート: 32 kbps ~ 320 kbps、可変ビットレート (VBR) 対応
- サンプリング周波数: 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
- 拡張子: .mp3

^{*1} これに加えてICレコーダーの各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

スピーカー

直径28 mm

入・出力端子

- 外部入力(ステレオミニジャック)
プラグインパワー対応 最小入力レベル: 0.6 mV
- ヘッドホン(ステレオミニジャック)
推奨負荷インピーダンス: 8 Ω ~ 300 Ω
- USB端子(USB Type-A端子) High-Speed USB対応
- カードスロット
メモリスティック マイクロ™ (M2™) / microSD対応スロット

再生スピード調節(DPC)

2.00倍速 ~ 0.50倍速

実用最大出力

300 mW

電源

- DC3.0 V、単4形アルカリ乾電池(付属) 2本
- DC2.4 V、単4形充電式ニッケル水素電池(別売) 2本

動作温度

5℃～35℃

最大外形寸法(最大突起部含まず)

約37.2 mm×113.2 mm×19.3 mm
(幅／高さ／奥行き)(JEITA^{*2})

質量

約75 g (単4形アルカリ乾電池2本含む)(JEITA^{*2})

^{*2} 電子情報技術産業協会(JEITA)規格。

付属品

9 ページ参照




別売アクセサリ

- エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CZ10、ECM-CS3、ECM-TL3
- USB ACアダプター AC-UD20
- 充電式ニッケル水素充電池単4形 NH-AAA-2BKB

ICレコーダーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間^{*1*2}

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード (録音シーン ^{*3})	内蔵メモリー	メモリーカード				
		2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
MP3 192kbps (   S1/S2)	44時間40分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間	357時間
MP3 128kbps (☺/🎧)	67時間5分	33時間30分	67時間5分	134時間	268時間	536時間
MP3 48kbps (MONO)	178時間	89時間25分	178時間	357時間	715時間	1,431時間
MP3 8kbps (MONO)	1,073時間	536時間	1,073時間	2,147時間	4,294時間	8,589時間

^{*1} 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは電池の持続時間(110 ページ)をご確認ください。

^{*2} 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。 ^{*3} お買い上げ時の設定です。

音楽ファイル最大再生時間／ファイル数^{*4}

ビットレート: 48 kbps 再生時間: 178時間 曲数: 2,670ファイル

ビットレート: 128 kbps 再生時間: 67時間5分 曲数: 1,006ファイル

ビットレート: 256 kbps 再生時間: 33時間30分 曲数: 502ファイル

^{*4} パソコンにある1ファイル4分のMP3ファイルを転送して再生する場合

電池の持続時間

乾電池の持続時間^{*1}

(ソニーアルカリ乾電池LR03 (SG)を連続使用時)

録音モード	録音時	スピーカー 再生時 ^{*2}	ヘッドホン 再生時
MP3 192kbps	約57時間	約18時間	約48時間
MP3 128kbps	約57時間	約18時間	約48時間
MP3 48kbps (MONO)	約72時間	約18時間	約48時間
MP3 8kbps (MONO)	約96時間	約18時間	約48時間

^{*1} 電子情報技術産業協会 (JEITA) 規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。

^{*2} 音量レベルを27に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

充電式電池の持続時間^{*1}

(ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時)

録音モード	録音時	スピーカー 再生時 ^{*2}	ヘッドホン 再生時
MP3 192kbps	約42時間	約12時間	約34時間
MP3 128kbps	約42時間	約12時間	約34時間
MP3 48kbps (MONO)	約50時間	約12時間	約34時間
MP3 8kbps (MONO)	約65時間	約12時間	約34時間

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修・性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

困ったときは

「症状から調べる」(113 ページ)
の各項目で調べる。

電池を入れなおす。
電池を入れなおすと問題が解決
することがあります。

パソコンを利用できる場合

- ヘルプガイドで調べる(131 ページ)
インターネットに接続できる環境の場合、ヘルプガイドページで
“ICレコーダー”の操作について、説明をご覧ください。
- ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページで調べる
(131 ページ)
インターネットに接続できる環境の場合、サポートホームページで
最新情報を調べることができます。
- Sound Organizerのヘルプで調べる(「Sound Organizerを使う」(別冊))
Sound Organizerについての操作方法はSound Organizerのヘルプ
で調べることができます。

上記を確認しても問題が解決しないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店に相談する。

症状から調べる



修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
 なお、保証書とアフターサービスについては、111 ページをご参照願います。
 修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは(ICレコーダー)

分類	症状	原因／処置
ノイズ	ノイズが多く聞き取りにくい。	<ul style="list-style-type: none"> 音声以外の周囲音が録音されてしまうことがあります。 → 再生時に、ノイズカット機能を「オート」、「強」、「弱」に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします(50 ページ)。 全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。
	ノイズを少なく録音したい。	<ul style="list-style-type: none"> 録音フィルター機能の「NCF (Noise Cut)」または、「LCF (Low Cut)」を選択すると、ノイズを軽減した録音ができます(40 ページ)。 また、シーンセレクト機能を使うと、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます(35 ページ)。

分類	症状	原因／処置
ノイズ	カサカサと音が録音されている。	<ul style="list-style-type: none"> 録音したとき、ICレコーダーに手などがあたったり、衣服とこすれたりすると雑音が録音されることがあります。 → 録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
	ジリジリと音が録音されている。	<ul style="list-style-type: none"> 録音中や再生中にICレコーダーを電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 → ICレコーダーを離して録音してください。
	外部マイク(別売)で録音すると、雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 外部マイクのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
	ヘッドホンで聞くと雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンのプラグが汚れています。 → プラグをきれいにクリーニングしてください。
	ノイズカット機能を設定しているのにノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵スピーカーで再生しているとき、ノイズカット機能は無効になります。 ノイズカット機能が「オート」に設定されていると、自動的にノイズカットレベルが調節されますが、シーンセレクトの設定が「会議」、「講演」、「ボイスメモ」、「インタビュー」のいずれかの状態で録音したファイルを再生する場合は、ノイズカット機能が自動的に「弱」に設定されます(50 ページ)。

分類	症状	原因／処置
電源	電源が入らない、または操作ボタンを押しても動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗しています。 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しいですか？（12 ページ）。 電源がオフになっています。 → 画面が表示されるまで、ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へスライドさせると、電源が入ります（13 ページ）。 ホールドがオンになっています。 → ホールド・電源 入／切スイッチを中央位置にスライドしてください（28 ページ）。
	電源が切れない。	<ul style="list-style-type: none"> 停止中に、「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源 入／切スイッチを「電源 入／切」の方向へスライドさせると、電源が切れます（14 ページ）。
	電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none"> 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（90 ページ）。

分類	症状	原因／処置
電源	電池の持続時間が短い。	<ul style="list-style-type: none"> • 110 ページの電池の持続時間は、音量レベルを23で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。 • 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る(14 ページ)か、電池をはずしておくことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定(90 ページ)時間を短くしておくとしり忘れでの電池の消耗を抑えることができます。 • 5℃以下の環境で使用しています。電池の特性によるもので故障ではありません。 • マンガン電池を使用しています。ICレコーダーには、マンガン電池はお使いになれません。
動作	正常に動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電池を取り出して、もう一度入れ直してください。 • パソコンで初期化しています。 → ICレコーダーで初期化を行ってください(91 ページ)。
	録／再ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"> • メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されています。 → 「オン」に切り換えてください(87 ページ)。
録音	録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> • 録音残り時間が不足している場合は録音できません。 • 再生専用エリアの  タブ、 タブで管理されているフォルダには録音できません。

分類	症状	原因／処置
録音	録音が途中で止まる。	<ul style="list-style-type: none"> VORが作動しています。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にしてください(41 ページ)。
	他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 他の機器のヘッドホン端子を使ってICレコーダーと接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。 抵抗入りのオーディオコードを使うと録音レベルが小さくなります。抵抗なしコードをお使いください。
再生	再生音量が小さい。	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーに内蔵しているスピーカーはモニター用のため、再生音が小さくなっています。 → 市販のヘッドホンを使用してください。
	スピーカーから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホンをつないでいます(55 ページ)。
	ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 再生中にヘッドホン差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込んでください。
	再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	<ul style="list-style-type: none"> DPC (速度調節) スイッチが「入」になっているため、▲ または ▼ で調節した再生スピードで再生されています。 → DPC (速度調節) スイッチを「切」にすると、通常で再生されます。または、▲ または ▼ で再生スピードを調節してください(52 ページ)。

分類	症状	原因／処置
再生	音楽ファイルの再生音質が良くない。	<ul style="list-style-type: none"> 「ノイズカット」が「オート」、「強」、または「弱」に設定されています。 → 音楽ファイルを再生するときは、「ノイズカット」を「オフ」に設定してください(50 ページ)。
編集	ファイルを分割できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーに一定の空き容量がありません。 選んだフォルダ(📁)に199のファイルが入っています。 → 不要なファイルを消去する(64 ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください。 システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 ICレコーダーで録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。
	ファイルを移動できない。	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストは移動できません。 保護されているファイルは移動できません。 メモリーカードにはファイルは移動できません。
	ファイルを別のメモリーへコピーできない。	<ul style="list-style-type: none"> ポッドキャストはコピーできません。
時計	時計表示が「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていません(15 ページ)。

分類	症状	原因／処置
時計	録音日時表示が「--y--m --d」または「--:--」になる。	<ul style="list-style-type: none"> 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
	時計設定がリセットされている。	<ul style="list-style-type: none"> 電池を入れ直したり、新しい電池に取り換えたりしたときは、時計設定の画面が表示され、電池を取り換える前に最後にICレコーダーを操作した日時が表示されます。現在の日時を設定し直してください。
表示	メニュー表示の項目が足りない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生、録音中は、表示されないメニューがあります。
	ICレコーダーに表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、パソコン上(Sound Organizer)での残量表示と異なる場合があります。
ファイル	「メモリーが一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーがいっぱいになっています。 → 不要なファイルを消去する(64 ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください(91 ページ)。
	「ファイルが一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> 選んだフォルダ(📁)に199のファイルが入っているか、または、全体で4,074のファイル(フォルダが21個のとき)が入っているため、録音やファイル移動ができません。 → 不要なファイルを消去する(64 ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去してください(91 ページ)。

分類	症状	原因／処置
ファイル	メモリーカードが認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください(19 ページ)。 ICレコーダーのメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください(25 ページ)。
パソコン	変更したメニュー設定が反映されていない。	<ul style="list-style-type: none"> 設定変更直後に電池が抜かれたり、電池残量がない状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、ICレコーダーのメニュー設定が反映されないことがあります。
	フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> WindowsのエクスプローラまたはMacのFinderを使ってパソコンで名前を入力した場合、ICレコーダーで対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、ICレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。
	ファイルコピーに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
	パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンからICレコーダーをはずし、再度接続してください。 USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、ICレコーダーを直接パソコンに接続してください。 ICレコーダーが対応しているシステム構成(105 ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。 お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。

分類	症状	原因／処置
パソコン	ICレコーダーに転送したファイルが表示されない、または再生されない。	<ul style="list-style-type: none"> 表示できるファイルは8階層目までです。 ICレコーダーで対応しているMP3(.mp3)以外のファイルは、表示されない場合があります。ICレコーダーの仕様をご確認ください(107 ページ)。
	パソコンが起動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーをパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → ICレコーダーをパソコンからはずして起動してください。

こんなときは(Sound Organizer)

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因／処置
インストールできない。	<ul style="list-style-type: none">ハードディスクの空き容量が少なくなっています。 → 容量を確認してください。Sound Organizerが動作保証していないOSのパソコンにインストールしようとしませんでしたか？ → 対応しているOS (106 ページ)のパソコンにインストールしてください。Windows Vista、Windows 7、Windows 8またはWindows 8.1のGuestアカウントでログオンしています。 → 「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。
ICレコーダーと接続できない。	<ul style="list-style-type: none">ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。<ul style="list-style-type: none">外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。ICレコーダー側の接続ケーブルを抜き差ししてください。他のUSBポートで接続してみてください。システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行しています。 → システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行しないでください。内蔵メモリーやメモリーカードのデータをパソコンにすべてバックアップした後で、内蔵メモリーおよびメモリーカードをICレコーダーで初期化してください(91 ページ)。

症状	原因／処置
パソコンからの再生音量が小さい、 パソコンから音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> サウンドボードが付いていません。 パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていません。 ミュートが解除されていません。 パソコン側で音量を上げてみてください。(詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。) WAVファイルの場合は、サウンドレコーダー (Windowsに搭載) で音量を上げて保存しなおすこともできます。
保存したファイルが再生、編集できない。	<ul style="list-style-type: none"> 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、Sound Organizerのヘルプをご覧ください。
カウンターやスライダーの動きがおかしい、 雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> 分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度ICレコーダーに戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。(*ICレコーダーの形式に合ったファイル形式で保存してください。)
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	<ul style="list-style-type: none"> 録音時間の長さに関係なく、ICレコーダー内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	<ul style="list-style-type: none"> 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。



症状	原因／処置
本ソフトウェアを起動したときフリーズ(ハングアップ)してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> • ICレコーダーと通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、ICレコーダー内のデータが壊れるおそれがあります。 • ほかにインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。
インストール時に[FOR WINDOWS]が見当たらない。	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵メモリーを初期化した可能性があります。 → ICレコーダー サポート・お問い合わせページ(http://www.sony.jp/support/ic-recorder/)の「Sound Organizer」からSound Organizerをダウンロードしてください。



メッセージ表示一覧

メッセージ表示	原因
ホールド中 解除してください	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーが誤操作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド・電源入/切スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(28 ページ)。
電池が残りわずかです	<ul style="list-style-type: none"> 電池が残りわずかのため、初期化やフォルダ内消去ができません。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池(別売)と取り換えてください(12 ページ)。
電池残量がありません	<ul style="list-style-type: none"> 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池(別売)と取り換えてください(12 ページ)。
更新に必要な電池残量がありません	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量が充分ではないため、ソフトウェアのアップデートができません。新しい単4形乾電池、または充電済みの充電式電池(別売)と取り換えてください(12 ページ)。
メモリーカードエラー	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーが対応していないメモリーカードが使われています。「ICレコーダーで利用できるメモリーカード」をご覧ください(21 ページ)。

メッセージ表示	原因
メモリーカードがロックされています	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードが書き込み禁止になっています。ICレコーダーではお使いいただけません。
読み取り専用のメモリーカードです	<ul style="list-style-type: none"> 読み取り専用メモリーカードが使われています。ICレコーダーではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	<ul style="list-style-type: none"> アクセスコントロール機能が働いているメモリーカードを挿入しました。ICレコーダーではお使いいただけません。
メモリーが一杯です	<ul style="list-style-type: none"> 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(64 ページ)。
ファイルが一杯です	<ul style="list-style-type: none"> フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください(64 ページ)。
トラックマークが一杯です	<ul style="list-style-type: none"> すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(73 ページ)。
ファイルが壊れています	<ul style="list-style-type: none"> 選んだファイルのデータが破損しているため、再生や編集ができません。
内蔵メモリーの初期化が必要です／メモリーカードの初期化が必要です	<ul style="list-style-type: none"> パソコンでメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化したためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューでメモリーの初期化をしてください(91 ページ)。パソコンで初期化しないでください。

メッセージ表示	原因
処理を継続できません	<ul style="list-style-type: none"> 電池を抜き差ししてみてください。 必要なデータをバックアップしてからメニューでICレコーダーのメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化してください(91 ページ)。 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。
停止してからメモリーカードを再挿入してください	<ul style="list-style-type: none"> 再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに、挿入してください。
時計を設定してください	<ul style="list-style-type: none"> 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
ファイルがありません	<ul style="list-style-type: none"> 選んだフォルダには1つもファイルが録音されていません。ファイル移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
トラックマークがありません	<ul style="list-style-type: none"> トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
メモリーカードがありません	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイルコピー」の設定はできません。
ファイルが保護されています	<ul style="list-style-type: none"> 選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。ICレコーダーで保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります(80 ページ)。
既に設定済みです	<ul style="list-style-type: none"> 既に別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。

メッセージ表示	原因
過去の日時です	<ul style="list-style-type: none"> 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(61 ページ)。
非対応のデータです	<ul style="list-style-type: none"> ICレコーダーで対応していないファイル形式のデータです。ICレコーダーが対応しているファイル形式(拡張子)は、MP3(.mp3)となります。詳しくは「ICレコーダーの仕様」をご覧ください(107 ページ)。 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	<ul style="list-style-type: none"> 再生専用エリアの  タブ、 タブで管理されているファイルは分割やトラックマーク設定ができません。 メモリーカードが後発不良(BADBLOCK)になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「現在位置分割」は実行できません。

メッセージ表示	原因
新しいファイルで録音を継続します	<ul style="list-style-type: none"> 録音中のファイルがファイルサイズの上限(500 MB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
フォルダを切り換えます	<ul style="list-style-type: none">  または  で表示されるフォルダにファイルがひとつもない場合、フォルダが表示できないため、表示できるフォルダに切り換えます。
ファイル数が上限を超えるため分割できません	<ul style="list-style-type: none"> フォルダ内のファイルの合計が、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください(64 ページ)。
同名のファイルが存在します	<ul style="list-style-type: none"> 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	<ul style="list-style-type: none"> 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
メモリーカードでは操作できません	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードに保存しているファイルには、アラーム設定できません。ICレコーダーのメモリーを「内蔵メモリー」に切り換えてください(25 ページ)。
シーンセレクトが解除されました	<ul style="list-style-type: none"> メニューの「シーンセレクト」が「オフ」以外に設定されているときに、メニューの録音モード、マイク感度、録音フィルター、VORの設定を変更すると、自動的に「シーンセレクト」が「オフ」に変更されます。
故障です	<ul style="list-style-type: none"> 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	<ul style="list-style-type: none">パソコンを使って、ICレコーダーに転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつICレコーダーに転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	<ul style="list-style-type: none">録音中のファイルがファイルサイズの上限(500 MB)に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	<ul style="list-style-type: none">パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、ファイル名、アーティスト名、タイトル名が文字化け、または「□」が表示される。	<ul style="list-style-type: none">ICレコーダーで表示できない文字が使用されています。フォルダ名、ファイル名、アーティスト名または、タイトル名を半角英数字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	<ul style="list-style-type: none">ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	<ul style="list-style-type: none">ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

サポートホームページで調べる

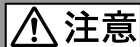
パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、ICレコーダー「サポート・お問い合わせ」のホームページ(<http://www.sony.jp/support/ic-recorder/>)でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

サポートホームページでは、以下の情報などを見ることができます。

- ☐ Q&A (よくある問い合わせ情報)
- ☐ 動画でサポート(上手な録音方法(シーン別録音のコツ)など)
- ☐ ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- ☐ 製品別サポート情報
- ☐ Sound Organizerのソフトウェアの使いかた
- ☐ 重要なお知らせ(サポートからの重要なお知らせ)
- ☐ 製品登録(製品登録へのご案内)
- ☐ Sound Organizerのダウンロードサービス

ヘルプガイドで調べる

パソコンなどでインターネットに接続できる環境の場合、ヘルプガイドページ(<http://rd1.sony.net/help/icd/p44/jp/>)で詳細な操作方法や困ったときの対処方法を調べることができます。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



禁止

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池

ニカド(Ni-Cd)

ニッケル水素(Ni-MH)

リチウムイオン(Li-ion)

乾電池

アルカリ、マンガン



危険

充電式電池、乾電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。

- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について



Ni-MH

ニッケル水素充電電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

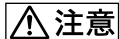


警告

乾電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。

- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用する時も取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

**注意****乾電池について**

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメディアおよびメモリスティック™メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。

Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- メモリースティック マイクロ™(M2™)および、



は、ソニー株式会社の商標 または登録商標

です。



- MagicGate™はソニー株式会社の商標です。

- AmiVoiceおよびAmiVoiceのロゴマークは株式会社アドバンスト・メディアの商標です。
- Nuance、Nuanceのロゴ、Dragon、Dragon NaturallySpeaking、RealSpeakは、米国とその他の国々におけるNuance Communications Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

索引

アルファベット

A-Bリピート	54
DPC (Digital Pitch Control)	52
LCF(Low Cut)	40
M2	9, 19, 21, 96, 103
microSDカード	19, 21, 96, 103
MP3	39, 107
MYシーン編集	38
NCF(Noise Cut)	40
USB ACアダプター	101
USBメモリー	100
VOR (Voice Operated Recording)	41, 84

あ行

アフターサービス	111
アラーム	61, 84
イージーサーチ	57, 84
オートパワーオフ	85, 90
お手入れ	103
音量調節	33, 48

か行

外部入力選択	43, 84
各部のなまえ	
本体(裏面)	11
本体(表面)	10
カレンダー表示	58, 84, 87

乾電池.....	110
キュー.....	56
現在位置分割.....	76, 84
困ったときは.....	112

さ行

再生.....	48, 49, 53, 54, 55, 56, 57
シーンセレクト.....	35, 84
時刻表示形式.....	85, 89
システム構成.....	105, 106
システム上の制約.....	130
修理.....	111
仕様.....	105
消去.....	64, 73
使用上のご注意.....	102
設定初期化.....	85, 90

操作音.....	85, 89
----------	--------

た行

他の機器から録音.....	43
他の機器へ録音.....	46
タブを選ぶ.....	24
電源を入れる.....	12
電池持続時間.....	110
電池を入れる.....	12
電話の録音.....	45
時計設定.....	15, 85, 89
トラックマーク.....	72
トラックマーク消去.....	73, 84
トラックマーク全消去.....	74, 84
トラックマーク全分割.....	78, 84

な行

内蔵マイク	31
内蔵メモリー	25, 95
ノイズ	103
ノイズカット	50, 84

は行

パソコンにつなぐ	92
パソコンを活用する	92
表示切り換え	84, 87
ファイル移動	68, 84
ファイルコピー	70, 84
ファイル消去	64
ファイルを別のメモリーにコピー	70, 84

フォルダ	68, 94
フォルダ内消去	66, 84
フォルダ、ファイルを選ぶ	22
ヘッドホン	33, 55
編集	68
ホールド	28
ホールド・電源 入／切スイッチ	28
保護	80, 84
保証書	111
ポッドキャスト	24, 25, 97
本体情報	85, 91

ま行

マイク感度	40, 84
メッセージ表示	125
メニュー	
VOR	41, 84
アラーム	61, 84
イージーサーチ	57, 84
一覧	84
オートパワーオフ	85, 90
外部入力選択	43, 84
カレンダー表示	58, 84, 87
現在位置分割	76, 84
シーンセレクト	35, 84
時刻表示形式	85, 89
設定初期化	85, 90
操作音	85, 89
使いかた	82

時計設定	15, 85, 89
トラックマーク消去	73, 84
トラックマーク全消去	74, 84
トラックマーク全分割	78, 84
ノイズカット	50, 84
表示切り換え	84, 87
ファイル移動	68, 84
ファイルコピー	70, 84
フォルダ内消去	66, 84
保護	80, 84
本体情報	85, 91
マイク感度	40, 84
メモリー切り換え	25, 85, 88
メモリー初期化	85, 91
ランプ	84, 87
録音フィルター	40, 84
録音モード	39, 84

メモリーカード.....	19, 21, 26, 96, 103
メモリー切り換え	25, 27, 85, 88
メモリー初期化.....	85, 91
メモリースティック.....	9, 19, 21, 96, 103

ら行

ランプ.....	84, 87
リピート再生.....	54
レビュー.....	34, 56
連続再生.....	53
録音	30, 35
録音一時停止.....	34
録音シーン	35, 84
録音時間.....	109
録音フィルター.....	40, 84
録音モード	39, 84

録音モニター.....	33
録音レベルガイド.....	32